

一般質問 ハイライト

12月定例会の一般質問は、12月16日・17日に行われ、野村議員、川畑議員、山本議員、松尾議員、山口議員、石橋議員、中野議員、山崎議員、杓子議員、水尾議員の10名が市政各般にわたり質問を行いました。(質問と答弁の要旨は次のとおり)

予算編成

Q 平成九年度の予算編成にあたり、今年評価替えの固定資産税の動向、また、交付税交付金の特定化・起債の特定化等を含め、予算に財源不足が生じることが無いか、その取組みについてお尋ねします。

A 固定資産税の土地の評価については、地価公示価格の七割程度を目標とし、公的土地区画の均衡化、適正化を推進することとされており、地価動向を調査するため、平成七年度に平成八年一月一日を基準日とした土地鑑定評価を行った結果、旧市街地において下落傾向にあり、平成八年度には、路線価の評点数分布とその他の地区の宅地評点数の鑑定を実施し、普通商業地区は十五〜二十％、併用住宅地区は五〜十五％、普通住宅地区は横ばい、中小工業地区は五％の変動率が見受けられました。平成八年一月一日から引き続き下落となっている地区を算定するため、さらに時点修正の鑑定評価を行い、村部を中心とした地域の宅地変動については、横ばいか、市街地に近い住宅地については上昇のきざしが見受けられます。また、在来家屋の評価については、物価上昇率が下がったことと、経年減点補正の適用により評価額が軽減される見込みであります。

地方交付税については、地方公共団体が等しく、その行うべき

き事務を遂行することが出来るよう、一定の基準により国から地方に交付されるものであり、制度の目的は、地方自治の本旨の実現に資するとともに、地方公共団体の独立性を強化することとあり、その使途については、制約を受けない一般財源であります。交付税措置には、事業費そのものの一定割合を措置するものと、起債をしてその元利償還金を措置するものがあります。景気が低迷してからは、国で特に景気浮上策として地方単独事業を奨励し、後者のケースが増えていきます。本市では、起債を財源として自主的、主体的なまちづくり事業を進めており、今後も交付税を継続して確保するためには、交付税措置のある起債をして単独事業を推進しなければならず、そのため、公債費比率や経常収支比率が高くなります。現在小浜市には、重要なプロジェクト事業が山積しており、真に必要な事業を選択し、このような背景を十分考慮して財政指標を悪化させないよう、健全な財政運営に努めます。

原子力防災

Q もんじゅの事故以降原子力発電に対する危険性への関心が高まり、各地で住民参加の避難訓練が行われている。本市においても、住民参加の避難訓練やヨウ素剤の地域ごとの区分けへの改善、専門職員

の配置等について県に要望していくとの事であったが、その現状についてお尋ねします。

A 原子力防災の県への要望については、現在県の関係部局と相談している状況であり、文書による正式な要望にはいたっておりません。しかし、県では、担当部局において、防災訓練、ヨウ素剤、専門職員の配備等を含め、原子力防災全般に係る計画を鋭意検討しております。また、科学技術庁が、十二月に「原子力防災検討会」を設置し、原子力防災対策の現状と課題、地域における原子力防災対策の実行性向上及び地方公共団体に対する防災上の支援強化策等について原子力や原子力防災の専門家だけでなく、県の担当者等も含め検討することとなっており、本市においても、今後とも継続的に県の関係部局と相談するとともに「原子力防災検討会」の検討状況を注視しながら必要に応じ、適切な時期に文書による正式な要望を県当局に提出したい。

主要地方道 小浜・上中線

Q 主要地方道小浜・上中線道路改良工事の南川大橋周辺の冬期間の融雪対策など交通安全対策をどのように考えているか。また、工事において全区間完了まで使用開始しないのか。一区間づつでも使用する

ることにより交通事情がよくなると思われるがどうか。

A 南川大橋周辺の安全対策については、市道との交差点に信号機が設置される予定であり、街路灯を設置し、堤防の市道には右折車線を計画しています。また、南川大橋の高欄等は、交差点に進入する車が透視しやすいよう構造、色調に配慮しており、さらに冬期の安全対策として、橋梁部、市道のすり付け部には消雪装置を設置して交通安全に配慮していきたいと考えています。南川大橋、遠敷地係のおおさぎ橋への取付道路が平成九年三月完成予定であり、上中町野木地係から小浜市遠敷地係までの区間が供用開始される予定であります。そうすると野木から小浜市府中地係の中部農面道路までがつながることとなり、かなり交通事情がよくなるかと考えております。

新年度予算編成

Q 年々財政の硬直化が進み公債比率の黄信号が灯ったままであり、厳しい財政事情の中から予算を組むのは大変なことと推察するが、限られた財源の有効利用を図るのが責務であり、新年度予算の基本的な考え方についてお尋ねします。

A ここ近年の急激な社会ニーズの多様化に伴う新たな財政需要が増え、当市の財政を取り巻く環境は厳しいものがあり

ます。今、小浜市には重要なプロジェクトが山積していき、中期的に展望するとき、今から「財政力」を強化しておく必要があると考えます。そこで、二十一世紀のスタートラインという気持ちで予算編成にあたることに、より慎重な財政運営を行っていくよう五つの方針を示しました。

- 一、行政改革大綱に基づき、簡素で効率的かつ質の高い行政運営を図ること。
- 二、限られた財源を重要施策事業に重点的に配分すること。
- 三、着手している事業でも、年度配分を十分検討して実施すること。
- 四、あらゆる経費について抑制を図ること。
- 五、自主財源の確保に努めること。

以上、基本的方針により予算編成に当たりたいと考えています。

ふるさと創生事業

Q ふるさと創生事業の現況と展望について、平成九年度より実施予定の海浜小公園の設計が出来ていると聞くが問題ないかどうか。また、歴史ロードの整備計画や小浜公園周辺整備計画を進める上で市民の意見をどのように反映させていくのかその進捗と合わせて取組みについてお尋ねします。

A 本市には、ふるさと創生十か年計画を策定し、現在までマーマイドテラス

や八百姫通りの整備などを行ってききました。今後、海浜小公園を整備する予定であり、ハード面の整備が終了するものと考えています。しかし小浜公園の遊歩道、展望台を中心とした公園整備や、歴史ロードの整備等が残っており、引き続きこの計画を進めていきたいと考えています。また、昨年夏、西部振興会の皆様や、小浜地区の区長会に海浜小公園の三案を示し、同意を得られましたので、昨年秋季から実施設計を行い、すでに策定いたしました。これに基づき新年度に整備する予定です。

国際交流

Q 現在の国際交流の多様化を市はどのようにとらえているか。また、行事が行われると多くの方の協力と時間が必要である。現在、市の企画課に担当が一人配属されているが兼務のため時間が足りないと思われるので、国際交流窓口の拡大が出来ないか。今後の若狭地方の国際交流の中心となる小浜市の展開を展望する上で、市として物心両面でかかわっていかねばならない時期にきていると思うがどうか。

A 小浜市の国際交流につきましては、民間が行うべきもの、行政として行うべきもの、そして両者が共同で行うべきものと役割を明確化し、将来を見据えた国際交流を推進していく必要があると考えて

おり、「共生社会」の確立に努めてまいりたい。国際化の流れを踏まえ、国際交流窓口については、諸事情を勘案し、市民の皆様のご期待に添えるよう前向きに取り組んでまいりたい。また、各部署においても、国際化に対応出来る職員資質の向上等を図ってまいりたいと考えています。次に、国際交流協会に対して物心両面でのかわりについて、これまで人的、施設使用の面などで側面からお手伝いさせていたいただいています。今後国際交流活動の充実という観点から、より一層のご協力をさせていただきます。

人事交流

Q 現在小浜市では、重要課題が山積しており県の指導、協力が無ければ、事業の進展は難しいと思われるが、そこで、四月の機構改革と合わせ、県との職員交流についてどのように取り組むのかお尋ねします。

A 本市では、昭和四十七年から県へ職員を研修派遣しており、職員の資質や、専門的技術の向上を図るとともに交流を緊密にしています。現在も三名の職員を派遣しており、今後も県との交流を図ります。また、県との連絡調整や、事務、技術の交流を促進し、市職員の資質向上をはかることを目的に、昭和六十年から六十三年度までの四年間、県から三

名の職員を派遣していただいていたが、現在は受入れをしていません。当面する重要政策等で県とのより密接な人的交流が必要となった場合に改めて考えてまいります。

まちづくり

Q 小浜市第三次総合計画については、本年三月に一部改定を行い、新たな決意でもって取組みされているが、まちづくりの観点から、次の事業の現状についてお尋ねする。

- ①小浜・朽木・高島線について
- ②小浜中部農免道路について
- ③市道丸山・奈胡線について
- ④若狭ヘリポートについて

A ①小浜・朽木・高島線は、池河内を経て朽木へ抜ける新しい道路計画であり、昨年同盟会を発足するため、事務打合せを行い、予算計上したが、福井県と滋賀県の計画に相違があるため、現在調整中でありあります。

②小浜中部農免道路は、一期工事を府中から次吉の区間とし平成十年度完成目標とし、二期工事を次吉から甲ヶ崎の区間とし、平成十二年度完成目標としています。現在一期分として府中から北川まで六百九十六メートルを平成五年に供用開始し、十一月からは北川堤防から次吉の三百十メートルを供用開始しています。二期については、甲ヶ崎側の百二十八メートルが完成しており奈胡地係の百七十四

メートルの路床工事も昨年度施工しています。

③市道丸山・奈胡線は、丸山地係から奈胡地係まで延長一千八百十メートル、幅員十、五メートルを平成七年度より五箇年計画で、現在用地交渉を進めており、平成八年度には一部工事着手の予定である。

④若狭ヘリポートは、平成三年に供用を開始し、工費用資材の運搬や、航空写真業務等年間約二百回の利用があり、年々増加しており、十一月からは、民間の航空会社が業務を開始し、来年度以降は、遊覧飛行や、操縦士等の育成事業も始めるということであり、利用がさらに高まる予定であります。

奈良市、川越市 両姉妹都市から義援金

今回発生した、ロシアタンカー油流出事故に対し、本市と姉妹都市である奈良市議会より50万円、及び川越市議会より10万円の義援金をいただきました。

高速交通網と 観光行政

Q 小浜線電化、リゾート新線、近畿自動車道敦賀線等少しづつ前進し、いよいよ各論に入ってきたのではと思われるが、その中で一部事務組合化による基金造成の話が上がつているが、その内容について、また、それらの整備による地域の活性化に伴い、その受け皿が大切になってくると思うが、観光のグレードアップ、若狭嶺南の一体化が実感できる観光行政の取組みについてお尋ねします。

A 嶺南地域鉄道事業化検討協議会では、リゾート新線建設、小浜線電化、敦賀までの直流化について、現在整備時期の目標、基金の設置等地元体制の在り方について協議しており、基金の受け皿については、嶺南地区広域市町村圏協議会を一部事務組合化の方向で話し合いをしています。また、高速交通体系が整備されれば、当然観光客も増加するであろうし、また逆に採算性を確保するため、利用者を増やさなければならぬと考えています。そのためには、様々な観光施設をつくり、魅力ある観光地を形成することが大切であります。また、嶺南一体化の観光行政については、ハード面とソフト面で努力してまいります。広域的な観光行政については、それぞれの市

町村の持味、独自性を活かし、特に嶺南振興局等との連携を図りながら若狭地域全体の取組みとして進めてまいります。

市政縦欄室

Q 市民に、市政について広報・PRの場として、予算書、決算書、財政関係書類、小浜市史、商工業・農林水産統計等についてより多くの行政情報を提供する市政縦欄室が設置出来ないかお尋ねします。

A 本市では、平成四年度から公文書公開条例を施行し、市の保有する情報を公

開し、市民とともに歩み考える「開かれた市政」を政治信条の一つにして市政運営に努めております。現在各課において、書籍、資料等について自由に閲覧出来る体制となっておりますが、一箇所に限らず、自由に閲覧とコピー出来るまでにはいたっておりません。今後、市民ニーズも把握しながら閲覧方式の改善、検討を加え併せて公文書公開条例についても周知を図り、より多くの市民の方々が気軽に利用していただけるよう努めます。

決議

「シートベルト着用日本一・小浜市」運動に関する決議

交通事故を防止し、安全で住みよいふるさと小浜市づくりは、市民すべての願いである。市民の交通安全意識は高まりつつあるものの、交通事故の発生状況は、関係機関・団体のためまぬ努力にもかかわらず依然として増加の傾向にあり、楽観はゆるぎない情勢にある。悲惨な交通事故をなくし、住みよいふるさとづくりを目指すため、なお一層、市民の交通マナーの向上、安全運転意識の高揚を図るとともに、乗員の人命保護に極めて有効な、シートベルトの完全着用を強く望むところである。よって、本市議会は、交通事故の災禍から市民の尊い生命を守り、交通事故のないふるさとづくりのため、市民とともに「シートベルト着用日本一・小浜市」運動を強力に展開することを決議する。

以上、決議する。
平成八年十二月二十日
小浜市議会

総合振興協議会

小浜市と隣接する町村との各総合振興協議会が開催されました。それぞれの協議内容については、次のとおりです。

◎小浜・三方総合振興協議会
〔平成8年10月11日開催 於：小浜市〕

- 協議事項
- (1) 国道162号線改修促進について
 - (2) 広域基幹林道若狭幹線の建設促進について
 - (3) 近畿自動車道敦賀線の早期建設について
 - (4) 琵琶湖・若狭湾リゾートライン鉄道建設及び小浜線の電化促進について

◎小浜・名田庄総合振興協議会
〔平成8年11月14日開催 於：小浜市〕

- 協議事項
- (1) 国道162号線（深谷～相生間）のバイパス促進について
 - (2) 国道162号線（湯岡橋～須縄橋間）の改良計画について
 - (3) 県道中井・青井線（谷田部・滝谷間）の改良計画について
 - (4) 主要地方道園部・平屋線の整備促進について

◎小浜・上中総合振興協議会
〔平成8年11月25日開催 於：上中町〕

- 協議事項
- (1) 琵琶湖・若狭湾リゾートライン鉄道建設及び小浜線の電化促進について
 - (2) 近畿自動車道敦賀線の早期実現について
 - (3) 県道小浜上中線の整備促進について
 - (4) 一級河川北川改修整備促進について

◎小浜・大飯総合振興協議会
〔平成8年11月27日開催 於：小浜市〕

- 協議事項
- (1) 若狭西街道整備事業について
 - (2) 琵琶湖・若狭湾リゾートライン鉄道建設及び小浜線の電化促進について
 - (3) 近畿自動車道敦賀線の早期建設について
 - (4) 主要地方道綾部・大飯・小浜間の国道昇格促進について
 - (5) 県道岡田・深谷線の早期改修について